

平成 29 年度学校運営計画書

学校名 和歌山市立雑賀崎小学校 校長名 宮本 信吾 作成日 平成 29 年 5 月 26 日

学校教育目標

豊かな心を持ち、たくましく生きる、知・徳・体の調和のとれた子どもを育成する。

育てたい子ども像
考える子

なかよくする子

はたらく子・たくましい子

開かれた学校

ゆたかな心

確かな学力

本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 保護者・地域との連携を密にし、確かな信頼関係を構築する。 2 学校から保護者・地域に積極的に情報を発信していく 3 広い視野から物事を考え、判断できるように、多くの人々と関わり、コミュニケーションを大切にする。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 道徳教育の充実・人権教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・規範意識の醸成 2 特別活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・縦割り活動(つみき活動)のより一層の充実、発展 3 体験的な活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ほんまもの体験の充実 4 子どもとの約束 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の殻を破ろう ・あいさつ、返事のできる子になろう ・最後まで気持ちを込めてやりとげよう 	<ol style="list-style-type: none"> 1 学力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・学ぶことへの関心・意欲・態度の向上 ・基礎学力の向上 ・学習環境の整備 ・学び合いの授業改善 ・授業のユニバーサルデザイン化 2 校内研修と実践の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に研修に参加し、教員の資質向上を図る 一人一人の児童と向き合う環境づくりに努める
	<p>目標達成に向けた具体的方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校の様子、子どもの様子を保護者に知らせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・学校便り ・学年便り ・授業参観 ・学級懇談・個人懇談 ・電話連絡 ・連絡帳のやりとり ・ぐるりんメール ○学校の様子、子どもの様子を地域に知らせる <ul style="list-style-type: none"> ・学校便り地域版 ・回覧板 ・学校開放月間 ・学校行事の招待 ・ホームページの充実 ○地域や他の学校との交流 <ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャーの招聘 ・老人ホームとの交流 ・他の学校との交流 ・地域教材の開発 ・幼稚園・中学校や西浜ブロック小学校との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員の協働体制のもと、一人一人の子どもが自分の居場所のある安らぎのある学級づくり、学校づくり <ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリングマインドで子供を接する ○道徳教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちのいい挨拶の習慣化 ・規範意識の向上・育成 ・健康・安全に対する意識の向上 ・積極的に体験活動を取り入れ道徳教育と連動させる ・清掃活動の徹底 — 成就感が実感できる学校ぐるみの体験活動 — ○異年齢交流の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・つみき活動（縦割り活動） ・幼稚園との交流 ・お年寄りとの交流 ○子どもがつくる運動会、集会活動の充実、発展 ○おめでどう集会の充実 ○農山漁村合宿や文化事業への積極的参加 	<ul style="list-style-type: none"> ○「確かな力」の定着 <ul style="list-style-type: none"> ・授業のねらいを明確にする ・選択・判断・表現・振り返りを取り入れた子ども主体の授業づくり ・学習の系統性の把握 ・学ぶ価値が実感できる授業づくり ○個に応じた指導 <ul style="list-style-type: none"> ・補充授業の充実 ・やりがいのある家庭学習の充実 ○「ことばの力」の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・うちどくの充実 ・漢字の博士検定の挑戦 ○目的を持った読書活動、書く活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・活用力を活かしたダイナミックな学習 ○学んだことを外に発信し、学習の手応えを感じる <ul style="list-style-type: none"> ・足アート展・チャレンジランキング ・龍子賞、教育美術展等 ○校内研修（国語）を通して教員の資質の向上と児童の学力の向上に努める